

322292

※※2018年10月改訂（第10版）  
 ※2013年11月改訂

日本標準商品分類番号  
 873929

貯法：室温保存  
 使用期限：容器、外箱に表示の使用  
 期限内に使用すること

日本薬局方

注意：「取扱い上の注意」の項参照  
 処方箋医薬品  
 （注意—医師等の処方箋  
 により使用すること）

# 炭酸水素ナトリウム注射液

承認番号	22000AMX00151
薬価収載	1992年7月
販売開始	1992年10月
再評価結果	1985年7月

Sodium Bicarbonate Injection

炭酸水素Na静注1.26%バッグ「フソー」

## 【組成・性状】

### ※※1. 組成

販売名	炭酸水素Na静注1.26%バッグ「フソー」
容量	1000mL
成分・分量 (1袋中)	日局 炭酸水素ナトリウム 12.6g (1.26% <sub>v/v</sub> )
電解質濃度 (理論値)	Na <sup>+</sup> 150.0mEq/L HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup> 150.0mEq/L

### ※※2. 製剤の性状

販売名	炭酸水素Na静注1.26%バッグ「フソー」
剤形	水性注射剤
性状	無色澄明の液
pH	7.0~8.5
浸透圧比 (生理食塩液に対する比)	約1

## 【効能・効果】

◇薬物中毒の際の排泄促進（但し、pHの上昇により尿中排泄の促進される薬物に限る）

◇アシドーシス

◇下記疾患又は状態に伴う悪心・嘔吐及びめまい  
 動揺病，メニエール症候群，その他の内耳障害

◇急性蕁麻疹

## 【用法・用量】

◇薬物中毒の際の排泄促進，動揺病等に伴う悪心・嘔吐及びめまい並びに急性蕁麻疹には，炭酸水素ナトリウムとして通常成人1回12~60mEq（1~5g）を静脈内注射する。

◇アシドーシスには，一般に通常用量を次式により算出し，静脈内注射する。

必要量（mEq）= 不足塩基量（mEq/L）× 0.2 × 体重（kg）

なお，いずれの場合も，年齢，症状により適宜増減する。

## 【使用上の注意】

### 1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- (1) 心停止のある患者<sup>1)</sup> [炭酸ガスが蓄積し，細胞内アシドーシス発現の誘因となるおそれがある。]
- (2) うっ血性心不全のある患者，重症高血圧症の患者 [循環血液量を増すことから心臓に負担をかけ，症状が悪化するおそれがある。]
- (3) 腎障害のある患者 [水分，ナトリウムの過剰投与に陥りや

すく，症状が悪化するおそれがある。]

(4) 末梢及び肺浮腫のある患者 [浮腫が悪化するおそれがある。]

(5) 妊娠中毒症の患者 [水分，ナトリウムの過剰投与に陥りやすく，妊娠中毒症を悪化させるおそれがある。]

(6) 低カルシウム血症の患者 [症状が悪化するおそれがある。]

(7) 低カリウム血症の患者 [症状が悪化するおそれがある。]

### 2. 重要な基本的注意

心肺蘇生時には，炭酸ガスを十分排除する必要があるため，本剤の投与にあたっては，換気を十分に行うこと。

### 3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

副作用が認められた場合には，投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

		頻度不明
過剰投与	電解質	アルカローシス，高ナトリウム血症，低カリウム血症
	血液	血液凝固時間延長
	骨格筋	テタニー
神経系		口唇しびれ感，知覚異常
投与部位		血管痛
その他		発熱，全身冷感，不快感，貧血，悪心，徐脈等

### 4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているため，投与速度を緩徐にし，減量するなど注意すること。

### 5. 適用上の注意

#### (1) 調製時：

- 1) カルシウムイオンと沈殿を生じるので，カルシウム塩を含む製剤と配合しないこと。
- 2) 本剤はアルカリ性であり，他の注射剤と混合する場合は，配合変化を起こしやすいので注意すること。

#### (2) 投与前：

- 1) 投与に際しては，感染に対する配慮をすること（患者の皮膚や器具消毒）。
- 2) 体温程度に温めて使用すること。
- 3) 開封後直ちに使用し，残液は決して使用しないこと。

#### (3) 投与时：

- 1) 血管外へ漏れると組織の炎症・壊死を起こすことから，針先が確実に静脈内に挿入されていることを確認して，注入を開始すること。  
また，できるだけ太い静脈を利用すること。細い静脈しか得られないときは，適量の注射用水や5%ブドウ糖注射液で希釈し，緩徐に静脈内注射（点滴）すること。
- 2) 血管痛があらわれた場合には，注射部位を変更すること。  
また，場合によっては中止すること。

#### (4) 投与速度：ゆっくり静脈内に投与すること。

## ※※【薬効薬理】

生体内の代謝異常又は諸疾患に起因する体液中の酸性物質の発生、又は停滞によって起こるアシドーシスに用いて、正常の液性に戻す<sup>2)</sup>。

## 【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：炭酸水素ナトリウム (Sodium Bicarbonate)

分子式：NaHCO<sub>3</sub>

分子量：84.01

性状：白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、特異な塩味がある。水にやや溶けやすく、エタノール(95)又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。湿った空気中で徐々に分解する。

## ※※【取扱い上の注意】

- 1) 製品の安定性を保持するためガスバリアーフィルムで包装しているので、外袋は使用直前まで開封しないこと。
- 2) 外袋の内面に水滴が認められた場合は使用しないこと。
- 3) 連結管による連続投与は行わないこと。連続投与を行う場合には、Y型タイプのセットを使用すること。
- 4) インジケーター（ピンクの錠剤）が青紫～青色に変色している時は使用しないこと。
- 5) インジケーターを正常に働かせるため直射日光にさらさないこと。
- 6) 内容液の漏出又は混濁などが認められた場合は使用しないこと。
- 7) オーバーシール（ゴム栓部の汚染防止のためのシール）が万一はがれているときは使用しないこと。
- 8) 通気針は不要。
- 9) ゴム栓への針刺は、ゴム栓面に垂直に、ゆっくりと行うこと。斜めに刺すと、ゴム片（コア）が薬液中に混入したり、ポート部を傷つけて液漏れを起こすおそれがある。
- 10) 容器の目盛はおよその目安として使用すること。
- 11) 本品の容器は柔らかなプラスチック製であるため、鋭利なもの等で傷をつけたり、強い衝撃を与えたりしないこと。液漏れの原因となる。

## 【包装】

炭酸水素Na静注1.26%バッグ「フソー」 1000mL 10袋 FC  
FC（フレキシブルコンテナ）：輸液用のポリエチレン製  
ソフトバッグ

## 【主要文献及び文献請求先】

1) Imai, T., et al. : Jpn. Circ. J. 1989 ; 53 : 298-306

※※2) 第十七改正日本薬局方解説書、2016 : C-3000-3001

【文献請求先】 扶桑薬品工業株式会社 研究開発センター 学術部門  
〒536-8523 大阪市城東区森之宮二丁目3番30号  
TEL06-6964-2763 FAX06-6964-2706  
(9:00～17:30/土日祝日を除く)

製造販売元



扶桑薬品工業株式会社

大阪市城東区森之宮二丁目3番11号

SK-015-015A